

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和2年2月17日(月)

事業所名:えすぺらんさ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	○		活動等に十分なスペースを確保している	
	② 職員の配置数は適切であるか	○		基準以上に職員を配置して手厚い支援を行っている	
	③ 生活空間は、本人に分かりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じた事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		ゆっくり過ごす部屋と活動する部屋を分けて意識しやすい環境としている。バリアフリーで目がいき届きやすいようになっている。	
	④ 生活空間は清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	○		利用状況にあわせて限られた空間の中でも快適に過ごせるように配慮していく。	
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に広く職員が参画しているか	○			今後も必要に応じて業務改善を検討していく
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者の意向等を把握し業務改善につなげているか	○			保護者の意向に耳を傾けられるよう心掛けながら必要に応じて業務改善を行っていく。適宜面談の時間を設けられるようにしていきたい。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		利用保護者には保護者会にて結果を報告している。ホームページ等で公開していく。	
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋げているか		○		第三者評価は行っていない。外部講師等を招き外部からの意見をもらうなどしている。今後もオープンにいろいろな方から意見を頂くように心がけていく。
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		年間を通して月1回の研修を実施している	
関係機関や保護者との連携	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的にニーズの確認を行えるような方法を検討していく
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		定期的な全職種共通のアセスメントツールは現在用いていない。今後検討していく
	⑫ 児童発達支援計画には児童発達支援ガイドライン「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、そのうえで具体的な支援内容が設定されているか	○			計画の中に明示できるよう検討していく
	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		必要に応じて支援計画を見直しながら支援計画に沿った支援をおこなっていく	
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		一部の意見に偏らないように個別で立案し、振り返りを行うことで他の職員の意見も聞き、プログラムの見直し、修正を行っている	
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		外部の研修に参加したり、外部の方からも意見を取り入れながらプログラムを考えている	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		今後も子どもの状況に応じて実施している	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼にて活動の目的や方法の確認、情報共有を行っている	
⑱ 支援終了後には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○		終了後に振り返りを行い改善点の確認や情報の共有している		

関係機関や保護者との連携	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証、改善に繋げているか	○		その日のうちに記録をとることを徹底している		
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		定期的にモニタリングを行っている。今後も必要に応じて見直しを行っていく		
	㉑	児童発達支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		専門職や経験のある職員が参加している		
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		必要に応じて連携している		
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		今後も必要に応じて関係機関と連携していけるよう努める		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		医師や医療機関と連携できる体制を整えている		
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		現在は対象がない	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○		現在は対象がない	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			必要に応じて専門機関からの助言をうけるようにしていく	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		行事等で地域の方々を招待することはあるが、保育所等との直接的な交流の機会はない	
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			今後も積極的に参加し情報収集、共有に努めていく	
	㉚	日ごろから子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達状況や課題について共通理解をもっているか	○			送迎時の短い時間で行っているため、必要に応じて面談の機会を設けていく	
	㉛	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っているか		○		現在は行っていない	
	㉜	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約開始時に説明している。必要に応じて追加、補足等していく。	
	㉝	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援計画の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			説明し同意を得て署名、押印を頂いている	
	㉞	定期的に保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時のみの短い時間での対応となっているので、必要に応じて時間と場所と設定して話をする時間をつくる。	
	保護者への説明責任等	㉟	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			今後も父母会の活動を支援し、連携して子どもたちの支援に繋げていく。
		㊱	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもの保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			今後も保護者の方々に意見を頂きながら相談を受けやすい体制を整えていく。また迅速かつ適切な対応ができるよう体制を整えていく。
		㊲	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月会報にて活動や予定を発信している
㊳		個人情報の取り扱いに十分注意しているか	○			定期的に確認しながら今後も情報の取り扱いについて職員に周知徹底していく	
	㊴	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			意思疎通を図りやすい環境を整える等、配慮していく	

非常時の対応	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	行事等で地域の方々も招待している。こちらからも出向いて地域の行事等に参加しながら、地域交流を深めていく。	
	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアル等を策定し、職員や保護者に対して周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	前回の保護者会でも周知し事業所入口にも掲示している。必要性の高い対策については順次訓練も検討する。	
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	年に2回避難訓練を実施している。そのうち1回は消防署の立会をうけている	
	④⑬	事前に服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○	保護者から確認している	